

302号建物冷温水配管補修工事

工事名	302号建物冷温水配管補修工事	図面番号	1／7
種別	表紙	縮尺	MoSc8 (元図A3)
陸上自衛隊朝霞駐屯地業務隊			

工 事 仕 様 書		1 工 事 件 名 : 3 0 2 号建物冷温水配管補修工事 2 工 事 場 所 : 東京都練馬区大泉学園町 陸上自衛隊朝霞駐屯地 3 工 事 概 要 : 冷温水配管補修 延長253.80m、付帯建築・電気設備工事一式 4 工 事 期 間 : 契約日～令和5年12月15日(金) ※実工事は、令和5年10月2日(月)～同年11月30日(木)の間 本工事は本特記仕様書によるほか国土交通省制定「公共建築 工事標準仕様書」(現行版)による。(以下標準仕様書という。) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質 性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それら 関係法令等(条例含む)に抵触する場合には、関係法令等の遵 守の規定を優先する。	
一 般 共 通 事 項		部	
項 目		細	
共 通 事 項	1 協 議	・本特記仕様書及び図面に疑義が生じた場合には、監督官と協議を 行い指示に従うこと。 ・現場の納まり等により軽微な変更の必要性が生じたときは、監督 官と調整し、その指示に従うこと。ただし、請負金額・工期等の変 更は行わないものとする。	
	2 軽 微 な 変 更	・施工の確認を行う段階及び施工の具体的な計画を定めた総合施工 計画書を当該工事の施工に先立ち作成し、監督官に提出する。ただ し、あらかじめ監督官の承諾を受けた場合は、この限りでない。 ・施工図等を当該工事の施工に先立ち作成し監督官の承諾を受ける。 ただし、あらかじめ監督官の承諾を受けた場合は、この限りでない。 ・受注者は現場代理人等を指定し、関係法令に基づき現場の管理を 行い、防災に努めること。また、危険性のある場所には危険標示等 の処置を行なうこと。	
	3 施 工 計 画 書 及 び 施 工 図	・施工時間は、平日0830～1715までとする。ただし、設計 図書に定めらのある場合、あらかじめ監督官に承認を受けた場合は、 この限りではない。	
	4 現 場 管 理	・工事実施に関して、隊員及び部外者等に障害等を与えた場合、又 は施設等に損害を与えた場合は受注者の責任において復旧及び補償 すること。	
	5 施 工 条 件	・受注者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有 効な利用の促進に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化 等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)その他関 係法令等を遵守して建築副産物の適正な処理をし、その結果をマニ フェスト等(A、B2、D、E票)の写しを工期内に提出する他、 再生資源の活用を図らなければならない。また、金属類の有価物発 生材は監督官の指示する場所に集積すること。	
	6 施 工 中 の 安 全 確 保		
	7 発 生 材		

8 後 片 付 け	・工事実施期間中は、工事現場の後片付け及び清掃を行い常に整理 整頓に努めること。 ・国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(以下「グ リーン購入法」という。)に基づき、環境負荷低減できる材料の選 定に努める。
9 環 境 へ の 配 慮	・使用する材料は、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に 配慮しかつ、石綿を含まないものとする。 ・使用材料は仮設材を除き全て新品とし、監督官の検査を受け合格 したものを使用すること。 ・本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有す るものとし、JIS又はJASマーク表示のない材料を使用する場 合は、あらかじめ監督官に品質証明となる資料を提出して承諾を受 けるものとする。また、同等品を使用する場合は監督官の承諾を受 けること。
10 材 料 の 品 質 等	・工事写真は、施工前・施工中・施工後及び施工後隠蔽となる箇所 主要な工事段階の工事状況・使用材料・その他監督官の指示するも のを国土交通省大臣官房営繕部「営繕工事写真撮影要領」を参考に 整理し、1部を提出するものとする。 ・本工事に必要な申請及び提出書類は官側の示す規格様式で作成し 提出すること。
11 工 事 写 真	・受注者は、工事入門に際し駐屯地の規則及び監督官の指示を厳守 するものとし、指定された場所以外への立入りを禁止する。 ・本工事において、外国人建設就労者を工事に従事させる場合は官 側により指示された書類を従事開始予定の3週間前までに提出の上、 官側の承認を得た後に工事に従事させること。 ・本工事実施によって知り得た内容に漏洩してはならない。 ・本仕様書等は、工事関係者以外の複製を禁ずる。 ・工事に使用する電気及び水等は受注者にて準備すること。 やむを得なく官側の施設を使用する場合は有償とし、受注業者の 負担によりメーターを設置する。その場合の支払い方法は別に示す。
12 書 類 手 続	
13 立 入	
14 秘 密 蔽 守	
15 電 気、水 の 使 用	

6 特 記 事 項	
項目	特 記 事 項
安全管理	工事の安全には十分留意し、必要に応じて保安灯等の危険防止の為の措 置を講ずる等、安全管理を徹底すること。 次ページへ続く
種 別	
工 事 名	3 0 2 号建物冷温水配管補修工事
図 面 番 号	2 / 7
縮 尺	(元図A3)
陸上自衛隊朝霞駐屯地業務隊	

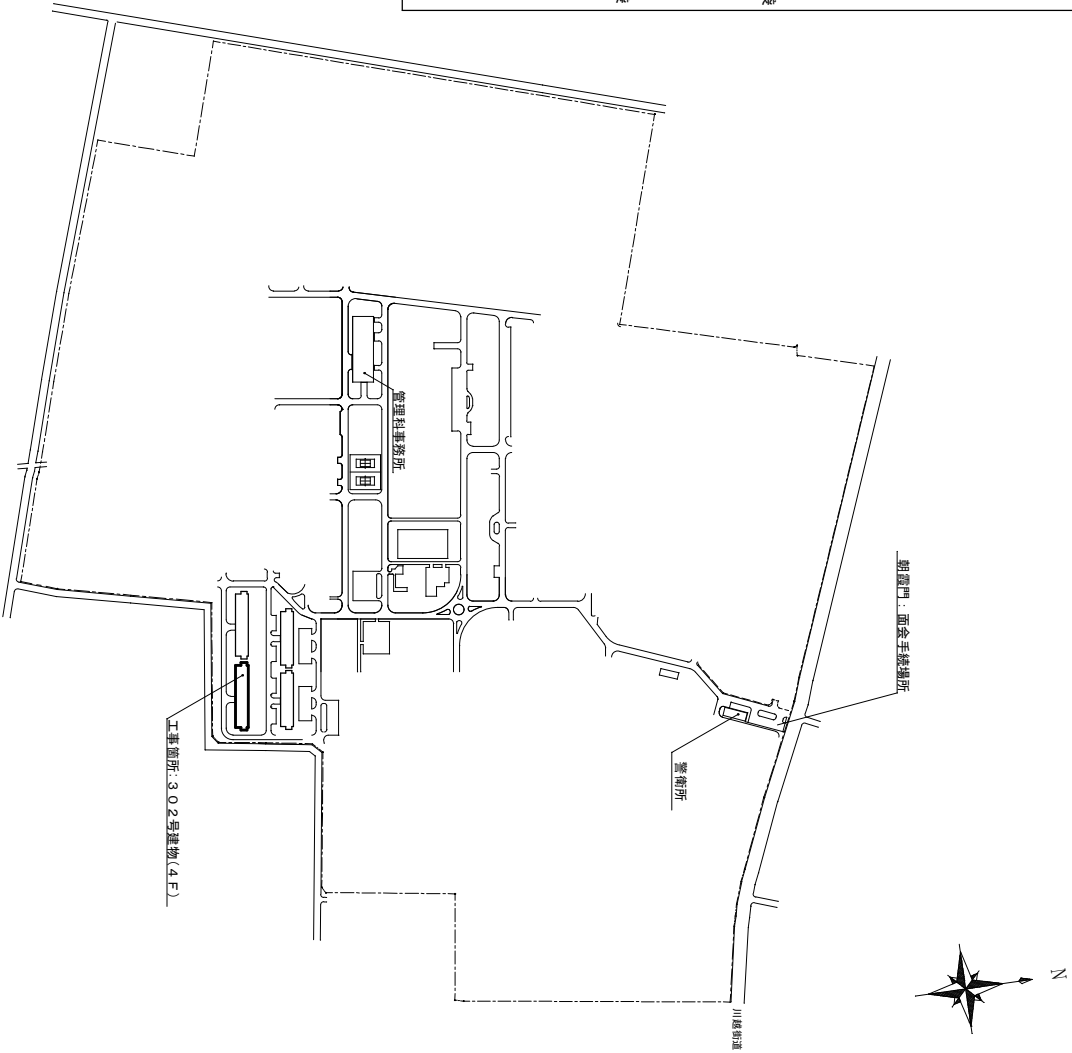
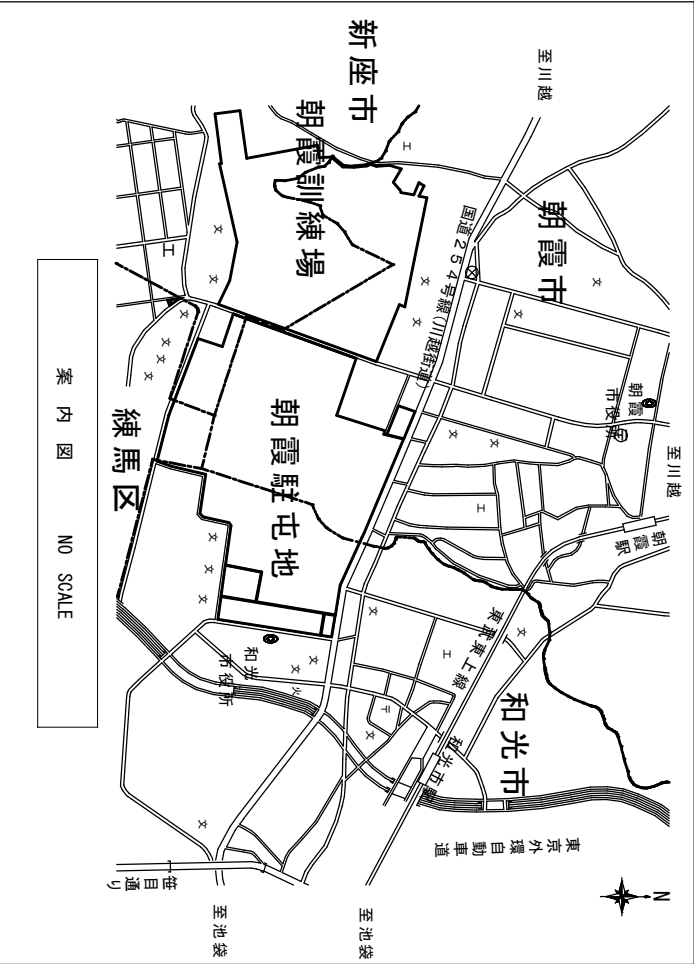
前ページから続き

仮設工事	足場等の設置に関しては労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に基づき、適切な材料、構造とし、適切な保守管理を実施すること。 天井開放部は、1日の作業が終了した後シート養生を施すこと。
(建築工事) 内装工事	天井に使用する石膏ボードは、不燃口910 t=9.5 JIS規格品とする。 天井ボードの復旧は、施工した配管漏洩がないことを確認し、保温工事が終了した後に行うこと。
(機械設備工事) 撤去工事	撤去は、主縦管のバルブ以降から撤去すること。
配管工事	使用する配管は、配管用炭素鋼鋼管（白）JIS G 3452とする。 管継手は、JIS規格品とする。 配管は、管の伸縮を妨げないようにし、均等な勾配を保ち逆勾配、空気だまり等の循環を阻害することのないよう施工すること。 配管の施工に先立ち、事前調査を十分に行い、既設設備との関連事項を詳細に検討し、勾配、接続位置等を考慮してその他への影響を及ぼさないよう施工すること。 既設配管の撤去範囲において、その位置で不具合が生じた場合又は接続が不可能若しくは危険と判断される場合は、監督官との協議による。 配管を切断する場合は、火を使用しない工法又は工具を使用し、切断後、水質汚染に十分注意すること。なお切断する際は、切断部の断面が変形しないよう管軸芯に対して直角に切断し、その切り口は平滑に仕上げること。 新設する配管の支持等は、吊り金物による吊り支持とする。
保温工事	使用する保温剤は、J I S規格品としホルムアルデヒド放散量は☆☆☆☆とする。 保温は、グラスウール保温材とし、天井内 C1・(口)・Ⅲとする。 本工事における室内は、隊員が居住している状態での工事となる。 騒音・振動の出る作業は、事前に監督官と調整し、承諾を得た後、工事を行うこと。
(提出書類)	提出書類は、下記を基準とし、その他監督官が指示した書類は、遅滞なく提出すること。 ・ 施工計画書 1部（様式随意） ・ 着工届 3部（様式指定） ・ 現場代理人届 3部（様式指定） ・ 工事工程表 3部（様式指定） ・ 工事日誌 都度 1部（様式随意） ・ 工事打合せ簿 都度 1部（様式指定） ・ 発生材調書 3部（様式指定） ・ 竣工届 3部（様式指定）

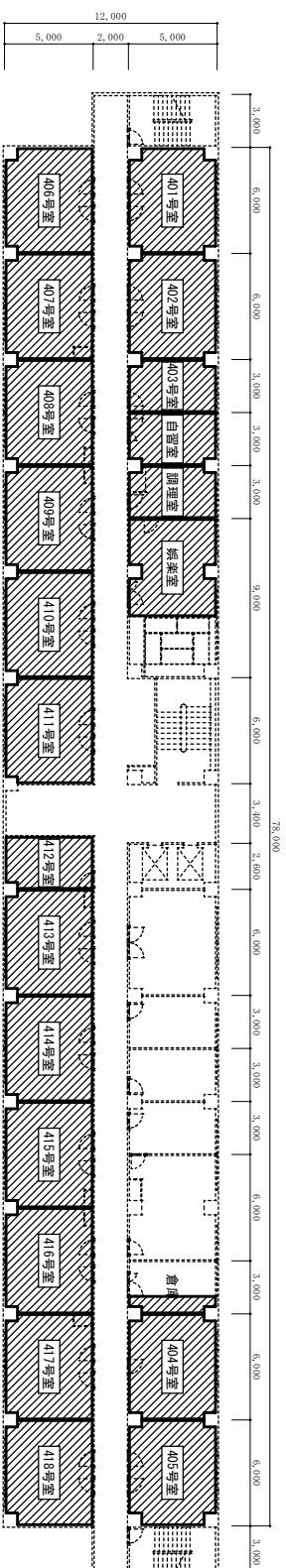
工事数量		規格・寸法	単位	数量	備 考
1. 仮設工事					
養生		養生シート	m ²	251.33	天井開放部
2. 撤去工事					
天井ボード撤去		不燃 □910 t=9.5	m ²	251.33	
天井点検口撤去		450×450	箇所	23	
照明器具撤去		30W×2	個	48	再取付
照明器具撤去		30W×2	個	10	再取付
感知器撤去		煙感知器	個	16	再取付
スピーカー撤去		天井埋込型	個	16	再取付
配管撤去		配管用炭素鋼鋼管（白）20A	m	156.40	吊金物、保温共
		配管用炭素鋼鋼管（白）25A	m	80.20	吊金物、保温共
		配管用炭素鋼鋼管（白）32A	m	17.20	吊金物、保温共
		弁類	式	1	図面による
		配管継手	式	1	保温共
3. 内装工事					
天井ボード張り		不燃 □910 t=9.5	m ²	251.33	
天井点検口		450×450	箇所	24	
4. 配管新設					
		配管用炭素鋼鋼管（白）20A	m	156.40	吊金物共
		配管用炭素鋼鋼管（白）25A	m	80.20	吊金物共
		配管用炭素鋼鋼管（白）32A	m	17.20	吊金物共
		弁類	式	1	図面による
		配管継手	式	1	
		総合調整（FCU・配管系統）	式	1	
5. 保温工事					
保温新設		グラスウール20A	m	156.40	
		グラスウール25A	m	80.20	
		グラスウール32A	m	17.20	
		配管継手	式	1	
6. 発生材処分			式	1	

工事名	302号建物冷温水配管補修工事	図面番号	3／7
種 別	仕様書（2）	縮 尺	二 (元図A)

陸上自衛隊朝霞駐屯地業務隊

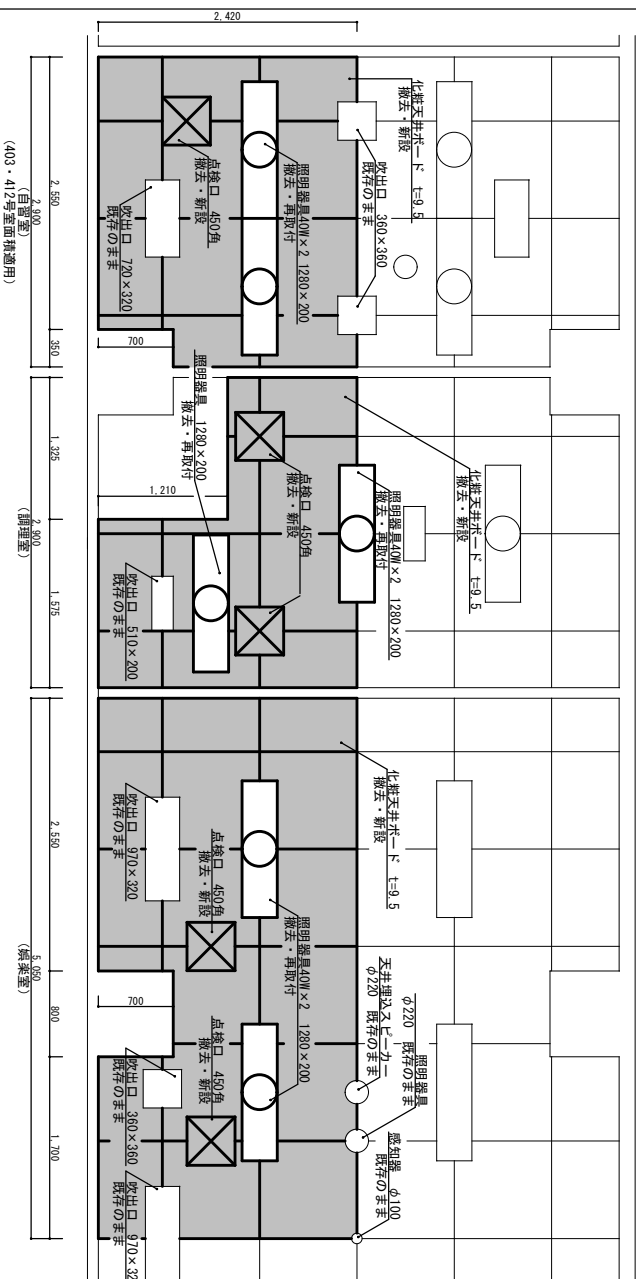
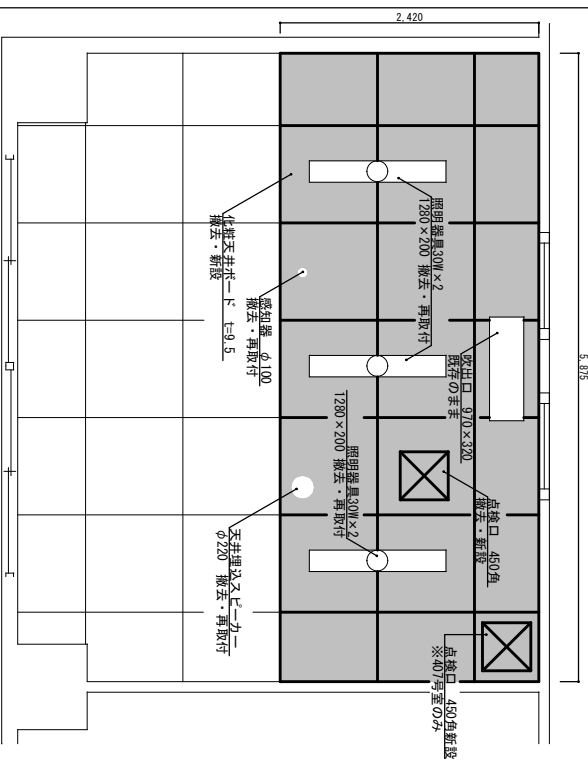


工事名	302号建物冷温水配管補修工事	図面番号	4/7
種別	案内図 駐屯地配置図	縮尺	NonScale (元図A5)
陸上自衛隊朝霞駐屯地業務隊			



- ・斜線部は工事場所を示す

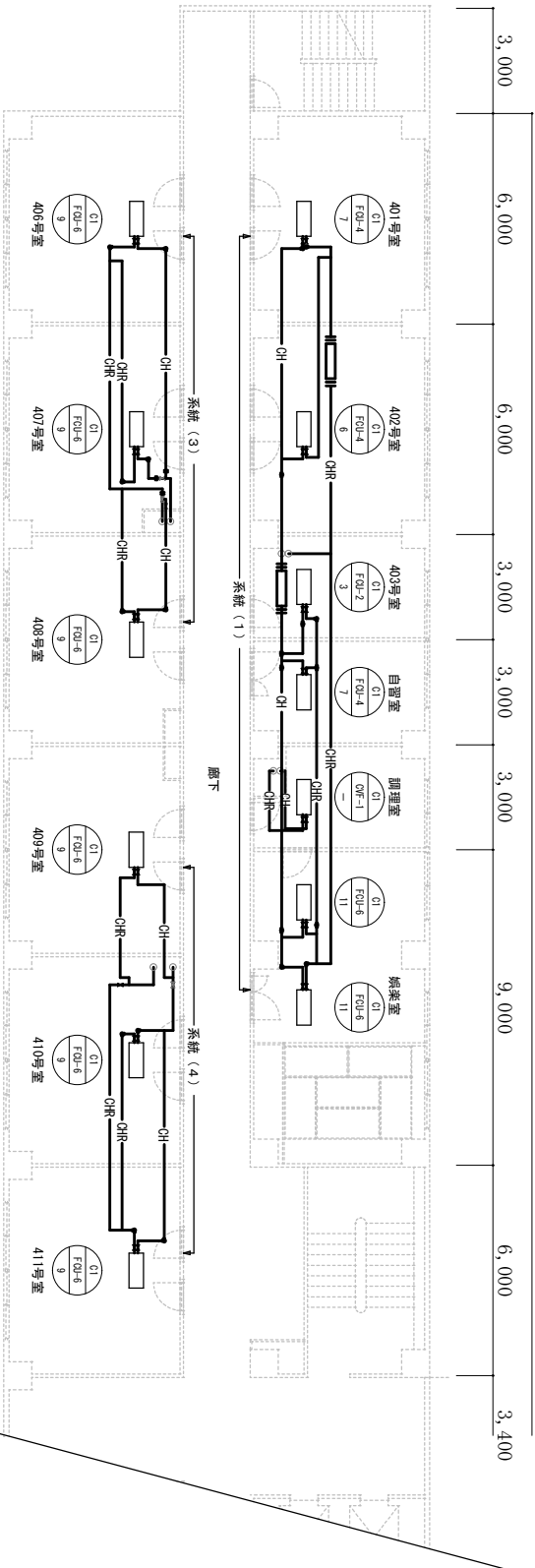
標準 4 階平面図 S=1:300



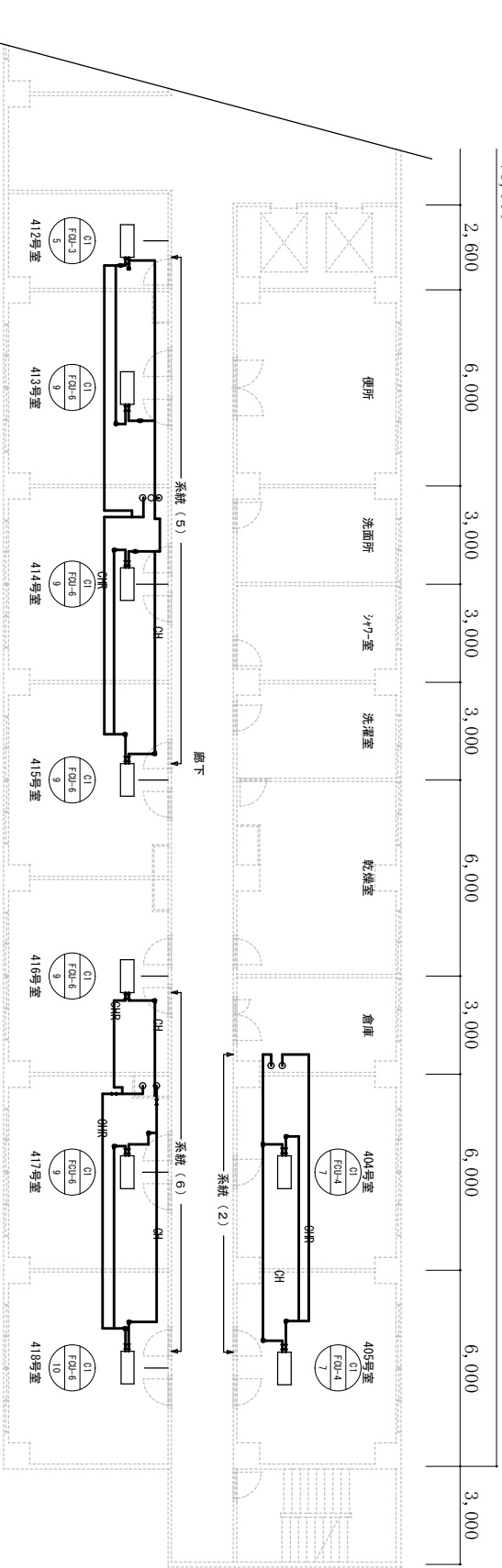
標準天井伏図 S=1:50

工事名	302号建物冷温水配管修繕工事	図面番号	5/7
種 別	標準4階平面図・天井伏図	縮 尺	1/400 (元図A)

12,000		
5,000	2,000	5,000

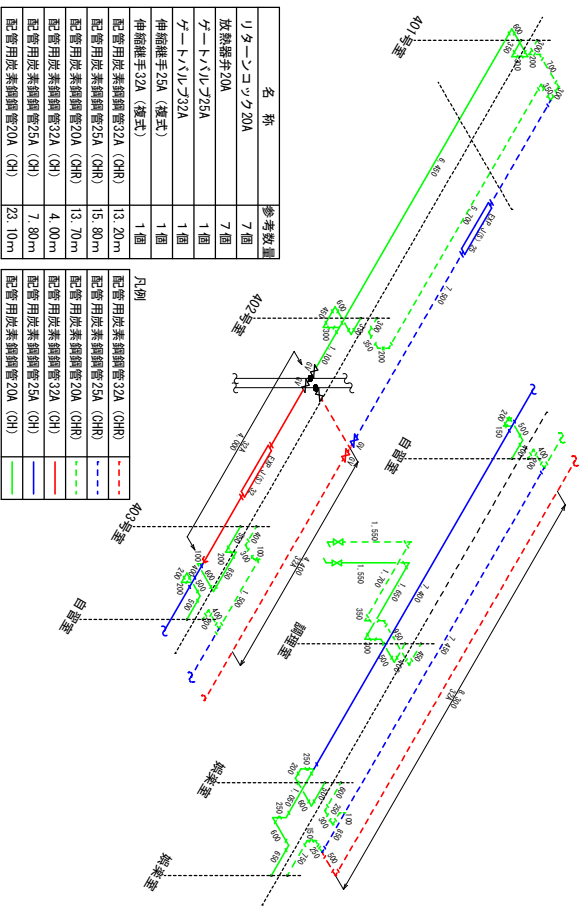


78,000

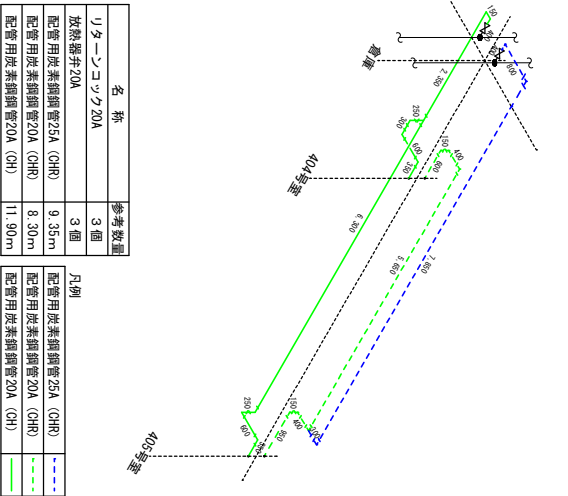


工事名	302号建物冷温水配管補修工事	図面番号	6/7
種別	標準平面図 (機械設備)	縮尺	図示 (元図A3)
陸上自衛隊朝霞駐屯地業務隊			

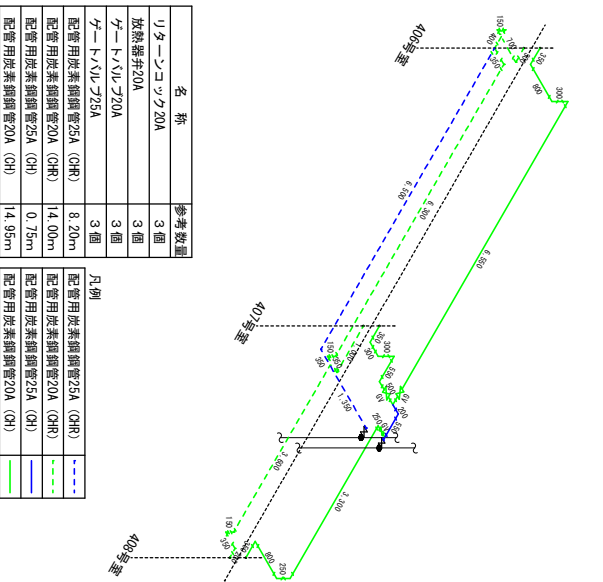
系統（１） 401号室・402号室・自留室・調理室・飼養室



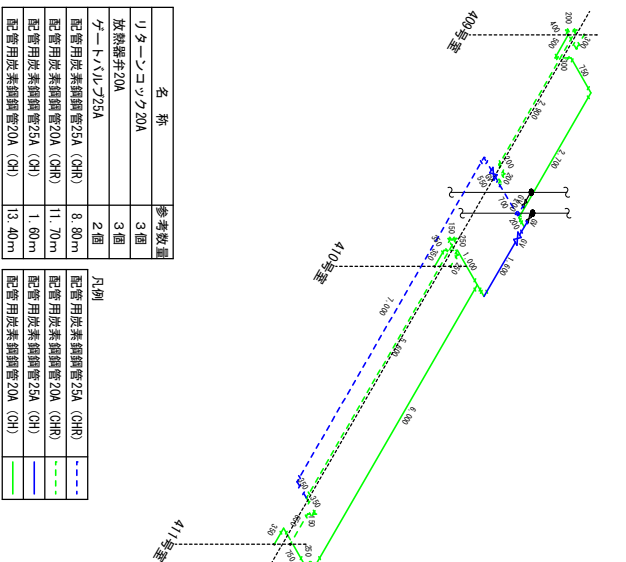
系統（２） 倉庫・404号室・405号室



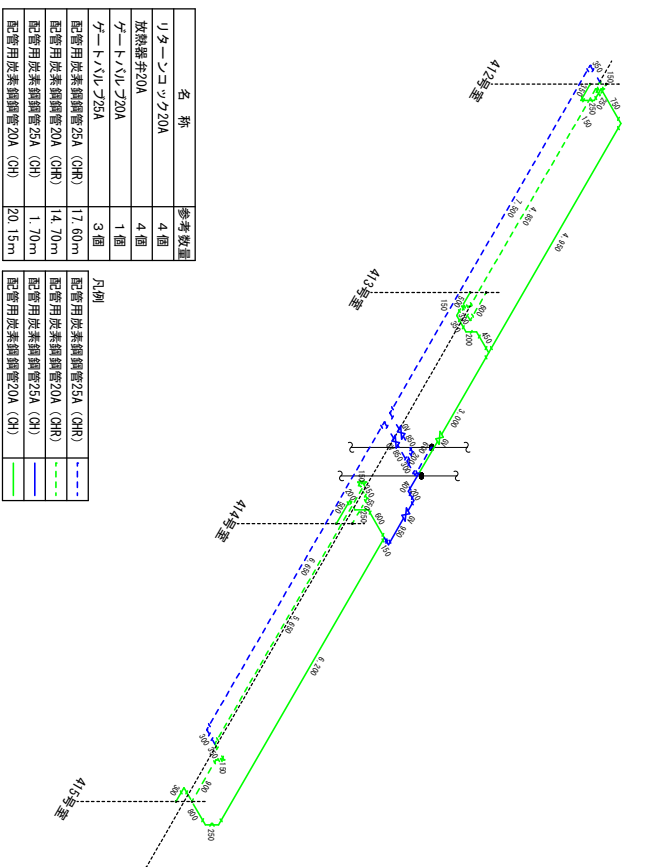
系統（３） 406号室・407号室・408号室



系統（４） 409号室・410号室・411号室



系統（５） 412号室・413号室・414号室・415号室



工 事 名		302号建物冷温水配管補修工事		図面番号	7/7
種 別	標準配管系統図			縮 尺	1:100 (元図A3)
	陸上自衛隊朝霞駐屯地業務隊				